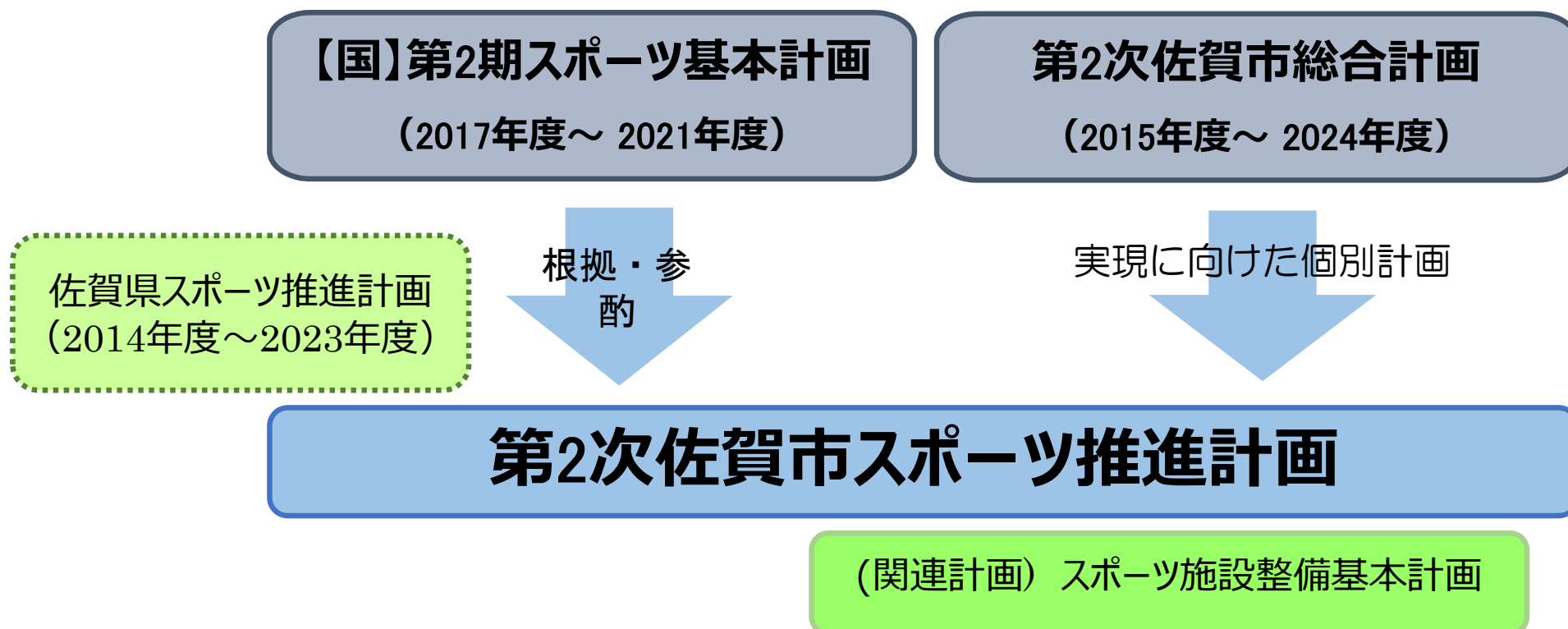


スポーツの推進について

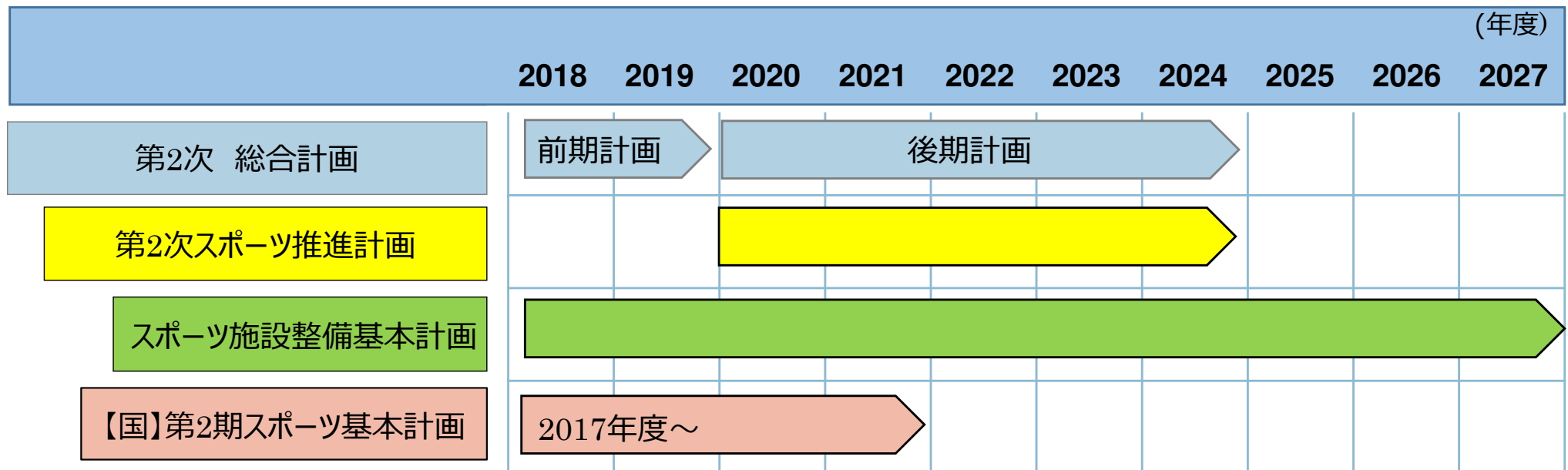
<第2次佐賀市スポーツ推進計画(2020▶2024)の概要>

第1 第2次スポーツ推進計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨
2. 計画の位置付け



3. 計画の期間



4. 計画における「スポーツ」の考え方

※スポーツの語源とされるラテン語

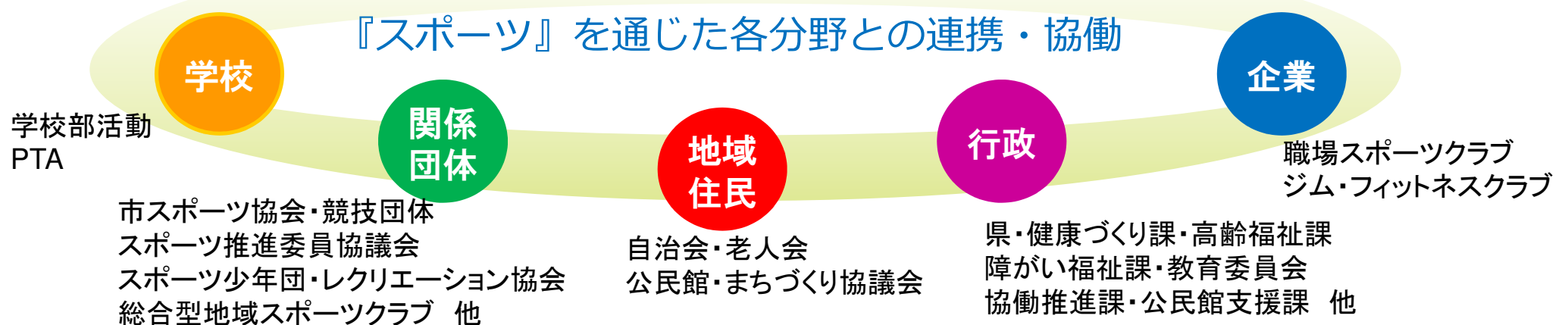
「deportare(デポルターレ)」……………「楽しむ」、「気晴らし」

第2 スポーツ推進施策の概要

1. スポーツを取り巻く佐賀市の現状と課題

- ①子どものスポーツ実施の二極化
- ②高齢社会の進展
- ③人々の価値観、ライフスタイルの多様化
- ④地域コミュニティの希薄化
- ⑤東京オリ・パラ、佐賀国スポ・全障スポ開催によるスポーツに対する機運の高まり

2. スポーツ推進の方向性とめざす姿



3. 目標達成のための成果指標

成 果 目 標	基準値	目標値
	2018年	2024年
日常的に(週1回以上)運動・スポーツをしている市民の割合	50.6%	60.0%
運動やスポーツが好きな小中学生の割合	88.3%	95.0%

4. スポーツ推進の基本施策

①生涯スポーツの推進

②競技スポーツの推進

③スポーツ施設の整備と活用

＜基本施策＞

1 生涯スポーツの推進

＜具体的施策＞

- (1) ライフステージに応じたスポーツの推進
- (2) スポーツを支える人材の育成・支援
- (3) スポーツによる「交流」の推進

【令和4年度の取組み実績(成果)】

(1) ライフステージに応じたスポーツの推進

① 子どものスポーツ推進

- スポーツ少年団活動(43団 755名)
- まなざしスポーツ・レクリエーション祭(165名)
- 学校でのニュースポーツ出前講座
小学校1校、中学校3校、特別支援学校1校 397人

② ビジネスパーソン・女性のスポーツ推進

- 子育てママのスポーツ教室
1クール4回 全5クール実施
- 講演会「女性アスリートの健康を守ろう」の名義後援、
チラシの配布

③ 高齢者のスポーツ推進

- 市老人クラブ連合会へのニュースポーツ指導
スポーツ推進委員による指導 2回実施
- 高齢者対象の出前講座を公民館等で実施 6回 93人



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(1) ライフステージに応じたスポーツの推進

④ 障がい者のスポーツ推進

- 特別支援学級への出前講座
- スポテン佐賀2022で陸上競技レーサー体験
- 佐賀県パラスポーツ協会との連携
イベント等の周知、問い合わせ対応



⑤ 地域のスポーツ活動の推進

- 各校区スポーツ推進委員を中心とした普及活動
- 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会

⑥ 生涯学習や健康づくり等関連部局との連携

- 公民館事業でのスポーツ活動との連携（公民館支援課）
- 乳児検診等でのスポーツイベントの広報（健康づくり課）
- 授業でニュースポーツの出前講座（佐賀女子短期大学）



【令和4年度の取り組み実績(成果)】

(2) スポーツを支える人材の育成・支援

① 地域スポーツに携わる人材の育成及び支援

○スポーツ推進委員協議会定例研修会の実施(6回)

② スポーツボランティアの養成及び支援

○スポーツボランティア講習会を開催(53人)

○さが桜マラソンボランティア(約2,500人)

さが桜マラソン「花いっぱいプロジェクト」による沿道応援

○佐賀バルナーズホームゲーム職場体験(34人)

○ユニファイドスポーツ2022への協力

③ スポーツボランティアの登録推進

○スポーツボランティア登録制度の運用

チラシの配布、募集、登録(65人)

○佐賀2024国スポ全障スポにつながる仕組みの検討



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(3) スポーツによる「交流」の推進

① スポーツ合宿等の積極的誘致

- スポーツ合宿補助金交付 5団体
- 実業団ボート部合同合宿誘致
トヨタ紡織、明治安田生命、デンソー、中部電力
- 新潟医療福祉大学野球部合宿受入
- スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会の活動



② スポーツ大会やイベント開催による交流人口の拡大

- 富士しゃくなげフェス 来場者約170人
- スポテンSAGA2022 来場者約2,200人
- サガン鳥栖ホームゲームマッチスポンサー 1試合
- 佐賀ブルーナースホームゲームマッチスポンサー 4試合



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(3) スポーツによる「交流」の推進

③ スポーツ情報の積極的な発信

- スポーツ振興課HP/Facebook/Twitter/Instagram
- サガン鳥栖地域担当選手の配置



④ 国際交流

- 外国人留学生とのスポーツ交流
スポーツ協会実施事業 1回 30人
- ニュージーランド陸上連盟との交流
大会事前キャンプ候補地視察時に白井副市長を訪問



＜基本施策＞

2 競技スポーツの推進

＜具体的施策＞

- (1) スポーツ指導者等の資質向上
- (2) 競技力向上のための連携・支援



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(1) スポーツ指導者等の資質向上

① ジュニア期のスポーツ指導者の育成・支援

- 少年スポーツのあり方についての取組方針の周知・啓発
- 少年スポーツ指導者資格取得費補助金
 - 日本スポーツ協会コーチングアシスタントの資格取得 5人
 - JSBB公認学童コーチの資格取得 8人
- 学校体育施設開放運営委員会との連携による
指導者支援



② ジュニア期のスポーツ指導者の

交流による資質向上及び保護者への啓発

- 指導者・保護者向け研修会の開催
 - ・ 第1回 プレーヤーズ・センターズ・コーチング
 - ・ 第2回 スポーツで子供を育てるということ
- 少年スポーツに関する相談窓口の開設
相談件数 3件



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(2) 競技力向上のための連携・支援

- ① アスリートの発掘・育成のための支援体制の整備
 - SSPスポーツライアル支援事業(佐賀県スポーツ協会)
 - プロスポーツ連携事業
 - 佐賀バルーンズ、サガン鳥栖との連携による競技力向上
- ② トップチームやアスリートによる技術指導の実施
 - 合宿、キャンプ受入時の選手との交流事業の創出
 - 佐賀バルーンズ地域クリニック
 - (佐賀県プロバスケットボール振興協議会)
 - 佐賀バルーンズターゲットエイジバスケットクリニック
 - (佐賀県プロバスケットボール振興協議会)
- ③ 大会(障がい者スポーツも含む)の開催支援
 - 市民スポーツ大会の開催
 - 校区対抗駅伝の開催
 - 県民スポーツ大会への参加
 - 三瀬旗少年剣道大会
 - 富士しゃくなげ湖ハーフマラソン
 - 県内一周駅伝大会 など

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止等の大会あり



【令和4年度の取組み実績(成果)】

(2) 競技力向上のための連携・支援

④ 全国大会等出場への支援

- 小中学生各種スポーツ大会等出場激励金(105件)
- 市内の高校が全国大会等に出場する際の補助金交付
バレーボール、バスケットボール、ラグビー



⑤ (公財)佐賀市スポーツ協会との連携

- 自主事業の実施による競技人口の拡大
- 各種大会へ出場する地元アスリートへの支援

⑥ 国スポ・全障スポ実施競技団体等との連携

- サガン鳥栖マッチデーでPR応援グッズを配布
- 佐賀バルーンズ佐賀市ゲームデーでPRチラシを配布
- スポテン佐賀2022に競技体験ゾーン設定
クレー射撃、スマートフェンシング、競技用車いす等
- さが桜マラソン2023会場内でPRグッズを配布等



＜基本施策＞

3 スポーツ施設の整備と活用

＜具体的施策＞

- (1) スポーツ施設の整備・充実
- (2) スポーツ施設の有効活用

【令和4年度の取組み実績(成果)】

(1) スポーツ施設の整備・充実

①安全・安心・快適に利用できる施設の整備

施設の老朽化対策、備品購入等

- ・R3.8月豪雨被災による
健康運動センター浴槽修繕(R5.3月再開予定)
- ・諸富文化体育館可動席修繕 など

②多様なニーズに対応できる設備の充実

利用者のニーズの把握

- ・エクストリームスポーツ関連団体との意見交換

③地域ごとの特色を活かした施設の整備

- ・地域の身近なスポーツ活動の場としての役割を考慮しながら、市有スポーツ施設の適正配置を検討

④国スポ・全障スポに対応した施設整備

- ・富士しゃくなげ湖水上競技場の整備(R5.5.21オープン)
スポーツの振興と中山間地域の活性化を図るため国スポ後の利活用についても検討
- ・国スポ練習会場の整備(市立体育館空調整備・市立テニスコート改修)



市立体育館空調整備



市立テニスコート改修

【令和4年度の取組み実績(成果)】

(2) スポーツ施設の有効活用

① 指定管理者による管理・運営の充実

各指定管理者の管理運営による、適切な維持管理及び事業の展開
指定管理者制度の積極的な導入検討

② 利用しやすい施設予約システムの普及

迅速な情報発信、予約システムの周知等

③ 自主事業の充実による利用者の拡大

市民のニーズに応じたスポーツ教室の開催

④ 学校体育施設の有効活用

各学校体育施設開放運営委員会への委託
スポーツ用具等の整備



【令和5年度の取組み(予定)】

佐賀市スポーツ施設整備アクションプラン(仮)策定

【目的】

現在、市内に設置している37のスポーツ施設について、平成29年度に策定した「佐賀市スポーツ施設整備基本計画」を踏まえ、市の公共施設等総合管理計画との整合性を保ちながら、今後計画的な整備と適正配置を図る必要がある。

【主な視点】

- ・施設の長寿命化、総量の適正化
- ・利用者・競技団体や地域の実情に十分に配慮しながら、施設の統合(集約)・廃止・再配置を検討
- ・施設の改修や新設検討
- ・国スポ後(2025)から、段階的に整備を進められるような実行計画を策定

【取組内容】

- ・市スポーツ推進審議会に諮問 ⇒ 答申
- ・年6回程度の審議会を開催し内容検討(市で素案作成)
- ・令和5年度末を目標に計画策定



【平成8年建設の市立野球場(27年経過)】

～ スポーツ推進のめざす姿 ～

「市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている」

そういう姿を目指して市民のライフステージに応じた健康、体力づくりを進めるため、

“生涯を通じてスポーツに親しめる社会の実現”

“スポーツを通じた地域住民が主体となったまちづくり” に取り組む。